

## 本書の使い方

### 本書の読み方・利用法

どの章からでもスタートできます！

本書は、プロローグ（導入編）、第1章（実施マニュアル編）、第2章（実践編）、第3章（理論編）、付録のワークシート&資料集から構成されています。

**プロローグ**：「解決志向のクラスづくり」のプログラム全体のイメージをおおまかにつかんでいただくための導入編です。各プロセスに呼応した子どもたちの感想なども紹介しますので、ぜひ最初にお読みください。

#### パターン①：第1章から順番に

第1章には「解決志向のクラスづくり」の具体的な内容が、マニュアルとして書かれています。何をするのか、どのように行うのかを早く理解して、実施につなげたいという方は、第1章からそのまま順番に進むのが、おすすめの読み方です。実例や子どもたちの感想も満載です。

#### パターン②：第2章から

このプログラムをやってみた結果が知りたい方、何か役に立つものを学校に導入したいと考えてこの本を手にとられた方は、第2章からどうぞ。実施した学校の手応えなど（担任や校長先生の感想、客観的なデータ等）が書かれています。Q&Aも含まれていますから、疑問も先に解消できそうですね。

#### パターン③：第3章から

プログラムの背景や理論から知りたいという方は第3章からです。プログラムの成り立ち、背景となる研究や先行実践についてまとめました。解決志向アプローチの理念と技法をまず理解していただき、国内外の価値あるクラスづくり実践について先に知ってから実施マニュアルに入る読み方も、実はおすすめです。

**付録の利用法**：巻末には使用するワークシートを掲載しました。これらを参考にして、オリジナルのワークシートを作成していただいてもいいですし、コピーして使うこともできます。ほんの森出版のホームページからのダウンロードサービスもあります。

### 本書の対象

学校関係のすべての立場の方に

**読者対象**：本書は、学校関係のすべての方、学級担任、教育相談係、養護教諭、生徒指導主任、学年主任、管理職、そしてスクールカウンセラー、支援員、相談員など、どんな立場の方にも役に立つものです。「チーム学校」のメンバーであるすべての人々に届けたいと願っています。

小・中・高校で使えます！

**プログラムの対象**：この実施マニュアルは、小学校中学年から中学生に理解でき、取り組めるように考えて作成してあります。そのため、本書では小学校4年生～中学校2年生の実践を例示しました。さらに成長した、高校生にもそのまま活用できます。少しかみ砕いて伝える、部分的に行うなど工夫すれば、小学校低学年でも実施できます。